

教育民生常任委員会 高校生と語り合う岩沼の未来 ～ワークショップを通して議会をもっと身近に～

5月21日に宮城県名取高等学校2学年の生徒と、岩沼市議会議員とのワークショップを実施した。

岩沼市議会の常任委員会では、昨年度から市民との対話の場として意見交換会を開催していたが、今回は議会活動をより身近に感じてもらい、市民の声を政策に生かすことを目的とした取り組みで、意見交換ではなくワークショップという手法を取り入れてみた。

高校生から見た「まちの課題」や「理想の岩沼」

当日は、生徒たちから「若者が過ごしやすいまちにするには」「岩沼の魅力をどう発信するか」など多くの意見が飛び交い、議員も感心するほど活発な意見交換が行われた。

「市議会議員と直接話せて、政治への関心が高まった」「自分たちの声がまちづくりに生かされると実感した」といった感想が生徒たちから寄せられ、議会としても非常に有意義な時間となった。

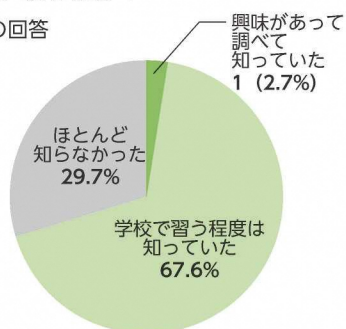
多くの生徒が実施して「よかった」と回答

普段経験できない議場見

アンケート結果

これまで議会の仕組みはどの程度知っていましたか？

・37件の回答



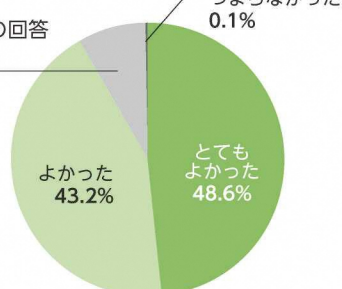
学や、「自分が市長なら岩沼市のためにどんな提案をしますか」というテーマで開催したワークショップ実施後のアンケート結果では、37回答中、約9割（91・8％）の生徒が「とてもよかった」「よかった」と回答があった。

今後も「開かれた議会」を目指して

議会改革の一つとして実施した、議会と名取高等学校とのワークショップは、学校からの評価が高く、次年度以降も継続的に開催したいという意見もいただいた。議会を身近に感じてもらえるように、このような機会を通じて、地域の課題や未来について語り合う場を今後も継続していく。

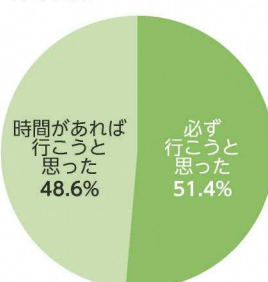
ワークショップ（話し合い活動）について

・37件の回答



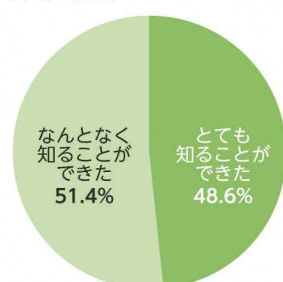
選挙（投票）について

・37件の回答



議会の内容について

・37件の回答



提案発表



ワークショップ



大村委員長による説明



議場見学